

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【公開番号】特開2018-161525(P2018-161525A)

【公開日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-040

【出願番号】特願2018-125716(P2018-125716)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月30日(2019.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体が上面を流下可能となるように形成されたスライド片を有し、該スライド片のうち最上流端部から最下流端部までの間の領域である特定の転動領域内にある遊技媒体を受け入れ可能な大入賞口手段と、

所定の始動条件が満たされたことに基づいて抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合、前記スライド片が動作することにより前記大入賞口手段が開放される開放状態と、前記大入賞口手段が閉鎖される閉鎖状態との間で相互切り替えが行われうる特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、

前記開放状態から前記閉鎖状態に切り替えられた後に前記大入賞口手段に到達した遊技媒体を、前記特定の転動領域内にて転動状態が維持されるかたちで所定の有限時間にわたって留まらせて、前記特別遊技において前記所定の有限時間内に前記閉鎖状態から前記開放状態に切り替えられるときに前記大入賞口手段に受け入れられうるようにする入賞慰留手段と、を備え、

前記特定の転動領域の上流には、該特定の転動領域へと遊技媒体を流下させる上流側供給面が設けられており、

前記入賞慰留手段は、前記上流側供給面が臨む球通路内には設けられておらず、且つ前記特定の転動領域において前記スライド片とは異なる部位で遊技媒体の流下速度を減速させる手段として設けられており、

前記入賞慰留手段は、前記特定の転動領域を流下する遊技媒体に接触して遊技媒体の流下速度を減速させる突部として設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

手段 1：遊技媒体が上面を流下可能となるように形成されたスライド片を有し、該スライド片のうち最上流端部から最下流端部までの間の領域である特定の転動領域内にある遊

技媒体を受け入れ可能な大入賞口手段と、

所定の始動条件が満たされたことに基づいて抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合、前記スライド片が動作することにより前記大入賞口手段が開放される開放状態と、前記大入賞口手段が閉鎖される閉鎖状態との間で相互切り替えが行われうる特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、

前記開放状態から前記閉鎖状態に切り替えられた後に前記大入賞口手段に到達した遊技媒体を、前記特定の転動領域内にて転動状態が維持されるかたちで所定の有限時間にわたって留まらせて、前記特別遊技において前記所定の有限時間内に前記閉鎖状態から前記開放状態に切り替えられるときに前記大入賞口手段に受け入れられうるようにする入賞慰留手段と、を備え、

前記特定の転動領域の上流には、該特定の転動領域へと遊技媒体を流下させる上流側供給面が設けられており、

前記入賞慰留手段は、前記上流側供給面が臨む球通路内には設けられておらず、且つ前記特定の転動領域において前記スライド片とは異なる部位で遊技媒体の流下速度を減速させる手段として設けられており、

前記入賞慰留手段は、前記特定の転動領域を流下する遊技媒体に接触して遊技媒体の流下速度を減速させる突部として設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】